



# かみっこ



## 日々の健康観察を

秦野市立上小学校長・幼稚園長 中村 克己

TEL 88-0274 FAX 87-3809

6月14日（月）に、関東甲信越地方が梅雨に入った模様と発表があり、例年より7日間遅い梅雨入りとなりました。この梅雨の季節の湿気とワクチン接種が進むことにより、感染拡大が緩和されることを願うばかりです。

さて、6月21日に沖縄県を除く7都道府県の緊急事態制限が解かれ、まん延防止等重点措置に移行されました。秦野市は「まん延防止等重点措置区域」から除外されたものの、神奈川県はまだその区域にあり、まだまだ人との接触機会を抑えて新型コロナウイルス感染拡大防止対策は続いていきます。何よりも日々の検温をはじめとする健康観察を、ご家庭においても十分行っていただき、少しでも体調が思わしくないときは、登校を控えていただき様子を見守ってください。また、ご家族の健康状態についても注視くださいますよう、重ねてお願いいたします。



## 夏季特別学習

6月18日（金）に、「グループ活動を通して、主体的に活動できる力をつけること」を目的に、4、5年生の夏季特別学習が行われました。「仲を深める・思い切り楽しむ・自分たちで考えて行動



する」3つの目当てを立て、互いに協力し合い、新たな自分と友だちを発見することができた1日だったと思います。オープニングセレモニーの「優しいあの子」の歌でスタートしました。その後、かまどづくり、おにぎりづくりを手際よく行っていました。おにぎりをもって四十八瀬川に向かい、水は冷たかったですが、川遊びを満喫していました。昼食後は、秦野市役所環境共生課の方によるエコスクールで、水生昆虫の観察や水質検査をするなど、川で充実した活動も行うことができました。

夕飯づくりは、かまどでの火起こし、各自が持ち寄ったレトルトカレーを温めました。そして、校舎前の階段に座り、みんなでカレーライスをおいしくいただきました。

キャンドルファイヤーは、歌やゲーム・ダンスで大変盛り上がりました。点火セレモニーで丹沢の神様から授かった「希望」「友情」「平和」「思い出」の4つの火は、子どもたちの心にいつまでも灯し続けられることでしょう。

ナイトウオークでホタルの観察に生き物の里に出かけました。期待を膨らまし現地に向かったところ、運よくホタルを目視することができました。緑色の光は幻想的で、子どもたちの心に美しい思い出を残すことができました。



## 幼児防災教育 保護者防災講習会

6月22日（火）に多目的ホールで、秦野市防災課による幼児防災教育（地震・火災・台風編）と保護者防災教室（防災ハザードマップの見方や災害に備えてなど）が開かれました。

「災害ってなに。みんなの命を守る、今みんなができること」を話の柱に、災害の様子を画像や動画を観ながら、園児は命を守るための行動をイメージでき、防災についての理解を深めました。

小学校の保護者が合流した保護者講習会では、上地区や秦野市内の危険区域の確認、各家庭における防災計画に向けた、マイタイムライン（いつ・誰が・何をするかをあらかじめ整理した防災行動計画）の活用による情報収集、さらには、避難や日頃から備えるべきこと等、盛りだくさんの内容でしたが、もしもの時に冷静に行動するには、日頃より準備が大切であることを、改めて考えさせられる講習会でした。



## うんどうあそび

幼小一貫教育の一環として、園児と1、2年生が年間を通して細川憲一郎先生に指導していただいている「うんどうあそび」が、6月24日（木）にありました。

今回は、「肋木遊びと体ほぐしの運動」を指導していただきました。初めに、細川先生より、肋木（ろくぼく）は海外発祥で、スウェーデン体操のための器具として導入され、日本には100年ほど前に入ってきたという話を聞きました。私は、バランス感覚を鍛えたり、リハビリ時や姿勢の矯正に使ったりという、活用効果もあると教わってきました。

まず、準備体操を行い、動物のポーズやジャンプしての足じゃんけんをするなど、体全体を使う運動で、十分体をほぐしました。そして、いよいよ肋木遊びです。まずは、肋木の上までのぼり降りる運動です。5つのグループに担当の先生が付き、順番に行いました。次に、5秒間肋木にぶら下がる運動をしました。

最後に、肋木を使って壁のぼりをする運動を紹介をしてくださいました。今回の運動遊びでは、上腕で体を支える大切さを教えていただきました。細川先生、ありがとうございました。

